

カンパチ種苗生産における初期配合飼料試験

外園博人，今吉雄二，池田祐介

【目 的】

カンパチ稚魚に適した栄養や嗜好性および飼料物性に富んだ配合飼料の給餌により，成長や生残率の改善，健苗育成およびコスト削減を図る。

【方 法】

試験は(株)ヒガシマルとの共同で実施し，飼育管理は(公財)かごしま豊かな海づくり協会に委託して実施した。

鹿児島県カンパチ種苗生産施設内の八角形100kℓ水槽を用いて，同施設で養成された親魚から平成26年8月3日に得られた浮上卵を100万粒収容した(第8R)。

種苗生産は，(公財)かごしま豊かな海づくり協会の方法に準じて行い，配合飼料は(株)ヒガシマル社製品ネオ錦江を使用した。

なお，比較として同親魚群の卵を用いた第7R(従来，同施設で使用されてきた他社製品配合飼料を使用)を対照区とした。

【結果及び考察】

(1) 結果

図1に期間中の成長曲線を示す。

配合飼料給餌が開始される日齢20以前の成長に差はみられなかったが，日齢20以降の成長はネオ錦江区が優れていた。

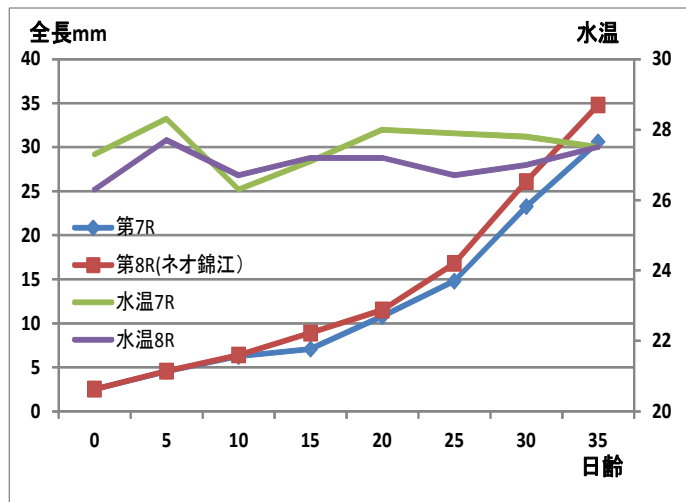


図1 成長曲線

また，日齢35での生残率は，ネオ錦江区が若干良好(試験区15.2%，試験区12.4%)で，日齢35での取りあげ尾数も対照区120,400尾に対しネオ錦江区は152,000尾であった。

(2) 考察

ネオ錦江は給餌初日から摂餌が観察され，成長も期間を通じて良好であったことや，生残率や活力も良好であったことから，稚魚の嗜好性や栄養要求を満たしていると考えられる。

また，飼料物性においても対照飼料に比べて自動給餌機の詰まりが少なく，その保守に係る除去など煩雑な作業が省略され，作業効率に優れた飼料と考えられる。

以上のことから，当製品はカンパチの種苗生産において，餌付け性能，成長性能および機能性を有した飼料であることが明らかとなり，成長や生残率の改善，健苗育成およびコスト削減が可能となることが示唆された。